



学校だより



墨田区立第三吾嬬小学校

校長 川中子登志雄

令和5年1月6日

1月号

令和5年 卯年 飛躍の年の始まりに

校長 川中子 登志雄



令和5年、2023年が穏やかに幕を開けました。旧年中は本校の教育活動に多大なるご協力を賜り、誠にありがとうございました。

さて、今年の干支は「卯」です。学校のアイドル・うさぎのショコラ(左写真・1月4日撮影)は、うさぎとしては大変な高齢で、昨年夏の終わりに元気がなくなり大変心配しておりましたが、その後涼しくなってからは元気を取り戻し、無事新年を迎えることができました。今年はいしなご年ですので、子どもたちのためにも、いつまでも元気でいて

ほしいと願っております。

学校は、うさぎにちなんで、今年は「大いなる飛躍」をめざしていこうと考えています。現在、昨年末にご協力いただいた学校評価保護者アンケートの結果や、そのほかのふりかえりをまとめ、令和4年度の総括を行い、5年度以降の教育活動の改善案を作成中です。時代の変化に伴い、これからの世界で活躍する子どもたちに求められる資質・能力も変わりつつあります。これまでの「当たり前」を一つ一つ吟味し、**真の目的の達成のために**、すべての教育活動を大胆に変革するつもりです。そして、**本校における「真の目的」とは、学校教育目標の達成**です。

自立 自ら学び、考え、行動する人 (本年度重点目標)

共生 思いやりをもち、共に生きる人

健康 しなやかで丈夫なところとからだをもつ人

今後進めていく改革に関しては、学校だより、ホームページ、校長室動画通信等を使って積極的に保護者や地域の皆様にお知らせいたします。皆様からのご意見を頂戴する機会も増えるかと思いますが、子どもたちの将来のため、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

今年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和4年度保護者アンケート回答率88.3%

昨年末にご協力をお願いした令和4年度「第三吾嬬小学校 教育活動についてのアンケート」（学校評価保護者アンケート）は、全家庭数443のご家庭のうち391家庭からのご回答をいただきました。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。「お子さんの通っている学校を良くする」という保護者の皆様のお気持ちを、ありがたく受け止めております。

現在、お寄せいただいたご意見の集約に入っております。皆様のご意見をよりよい学校づくりのために確実に生かしてまいります。結果については、この後、児童アンケート・教職員アンケートと合わせて、全教職員で総括を行った後、学校運営連絡協議会から評価の妥当性についてのご意見を伺い、2月の学校だより特別号にて発表させていただきます。



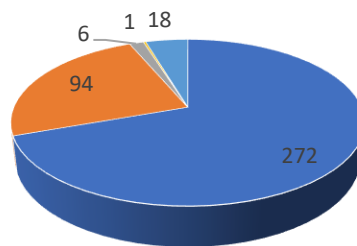
「三吾小に入学させて良かった」93.6%



毎年アンケートの最後の設問として伺っている「お子さんを三吾小に入学させて良かった」について、今年度も93.6%の保護者の皆様から高評価をいただくことができました。（昨年度比-3.6ポイント）コロナ禍も3年目となり、子どもたちや学校を取り巻く環境は年々厳しさを増しています。そのような逆境の中でも、保護者の皆様と力を合わせてこのような学校をつくることができているのは、私たち教職員にとって大いなる励みとなります。

今年度の同調査で、「分からない（判断できない）」と回答された方が昨年度より増えました。教育活動に関する情報は、できる限り早く、詳しくお伝えしますが、ご不明な点などは、その都度お気軽にお問い合わせいただきたく思います。

自分の子供を三吾小に入学させて良かった



■ 当てはまる ■ やや当てはまる ■ あまり当てはまらない ■ 当てはまらない ■ 分からない

〈行事について〉

席書会について

令和5年1月12日(木)・・・4, 5年生

1月13日(金)・・・3, 6年生 が体育館で毛筆を行います。

1, 2年生は、1月13日(金)までに 各学級で硬筆を行います。

※書写の授業の用意を忘れないようご注意ください。

書初め用紙、硬筆用紙は学校で用意いたします。



鑑賞・掲示について

校内書初め展として、1月17日～1月27日までの間、各学年廊下に作品を展示いたします。

1月21日(土)は、土曜授業参観で保護者の方もご覧になれます。ぜひ、ご参観ください。

〈お知らせ〉

ユニセフ募金について

1月24日(火)、25日(水)にユニセフ募金を行います。

ユニセフ用の封筒が配られますが、自宅にある封筒を使ってもかまいません。

お金のままは持たせないてください。気持ちですので強制ではありませんが、
おうちでも、ユニセフについてお話をしていただけるとありがたいです。

児童には23日の全校朝会で福祉ボランティア委員会からお知らせします。

ご協力をお願いいたします。



1月21日の土曜学校公開は「いじめ防止授業地域公開講座」です

講演「子供との関わりを考える～『となりのトトロ』を通して～」

講師 早川 和子先生(本校スクールカウンセラー)

1時間目に各学級の道徳の授業を公開します。9時40分より、
体育館にて公開講座を実施します。ジブリ映画『となりのトトロ』
を見ながら、家族について考える時間をもちます。乞うご期待!



(<https://www.ghibli.jp/works/totoro/>)

12月 土曜授業公開のアンケートから



12月の土曜授業公開のご参観ありがとうございました。いただきましたアンケートの内容については、全教職員で回覧し、可能な限り速やかに対応するように努めております。

以下に、改善を求められるご意見と、学校としての回答を書きます。今後とも、保護者の皆さんからのご意見を参考に、よりよい教育活動が行われるように、全力で取り組んでまいります。

保護者の方からのご意見

教員の指導について

子供同士の喧嘩について対応している先生たちの指導に、「この子が悪いのだろう。」という先入観があるのではないかと感じました。



その際の状況について、対応した教員で指導が適切であったかを、確認しました。

教員の指導の目的は、その児童が自身の行為を反省し改めようとする気持ちを促すこととあります。問題行動を取った児童の気持ちを聞く、先入観をもって指導を行わない等も重要であると、全教員に確認しました。

子供の授業態度について

学級の中に、一部、落ち着いて学習できていないような児童がいました。先生がもう少し厳しく指導する、最初から席を離す等してもよいのではないのでしょうか。



ご心配をおかけしております。問題行動が目立つ子供たちの指導については、担任だけでなく学校全体で取り組んでいるところです。必要に応じて、保護者の方との面談もしております。

今後も何かお気付きの点がございましたら、ご連絡いただくようお願いいたします。

児童の姿勢について

姿勢の悪さが少し気になったようです。背筋が伸びている子がいない。姿勢については、もう少し厳しくても良かったのではと思います。

本校の「三吾あいことば」に「まっすぐせすじ」があります。今一度、子供たちが意識して習慣として身につけることができるように、教員から働きかけるように努めます。

子供の主体性について

学級会を子供たちだけで運営しようとしていましたが、少し無理があるように見えました。



学級会等において、子供たちの力だけで運営していくことは、慣れない内は確かに難しいです。

ただ、「子供たちだけの力で取り組む」という挑戦と失敗を繰り返し、子供たちの主体性は身につくもので、大事なことは大人が「待つ」姿勢の方であると考えています。

教室の寒さ対策

教室後ろの扉を学校公開のために全開で後ろの席の子供が寒そうにしていたので、よいアイデアが何かあれば嬉しいです。



公開中は、学級の様子を誰でも見られるように、扉を開けております。通常時は、気温や暖房の効果によって、扉を開ける幅を狭めたり、閉めたりしています。

サーキュレーターも設置し、換気と室温の安定に努めておりますが、座席の場所による体感温度の差は防ぐことはできないので、調整がしやすい服装を選んでいただく等、ご家庭でのご協力よろしくお願いたします。

STEAM 人材育成事業「小学生スタートアッププロジェクト 2022」

3年高田悠輝さん、2年竹本陽さん・5年竹本信さんの体験紹介

昨年の5月に募集のあった「夢」をもつ小学生が、区内の町工場や経営者、大学生たちと協力しながら、自分の「夢」に挑戦する起業体験プロジェクト「小学生スタートアッププロジェクト2022」に、本校の児童3名が応募し「プチ支援」を受け、貴重な体験をしてきたという連絡を区役所・経営支援課よりいただきました。

https://www.city.sumida.lg.jp/sangyo_jigyosya/sangyo/jinzai_network/s_startup_pj.html

どんな体験をしたのか、簡単に紹介します。

3年・高田悠輝さん「大好きな恐竜の全身きぐるみを作りたい！」



●活動内容

きぐるみ製作会社の株式会社サンビコーポレーション（墨田区亀沢 3-14-17）の東金工場に訪問し、社長とお話しました。きぐるみ製作に挑戦中です。

●当日の様子等

千葉県東金の工場まで足を運び、実際のきぐるみ工房でお話を聞きました。当日は楽しくて仕方がない様子でした。また、今後数か月かけて悠輝さんが好きな恐竜のきぐるみを製作させてもらえることとなり、現在も製作中です。材料を決めるところから、実際の切り貼りの作業まで体験し、悠輝さんの夢の実現にぐっと近づいています。

●悠輝さんの感想

「(前略)電車を乗り継いで2時間かけて工場に着いた。そこで、自分が初めて書いた名刺を渡した。(中略)職人が使う裁ちばさみで型紙を切った。そしてその切った型紙をポリエチレンにマジックで写した。その次にポリエチレンを切ったが、思っていたよりも堅くて、それを30回くらい繰り返した。(中略)3回目に行ったとき、頭の部分が完成していたのでそれに自分はびっくりしました。(中略)とても楽しかったです。」



2年・竹本陽さん 5年・竹本信さん 「リアルな動きのサメロボットを作りたい！」

●活動内容

ロボット制作会社の DJ Robotics (墨田区立花 5-9-5) に訪問し、社長とお話しました。

●当日の様子等

人型のロボットに実際に触れてみたり、モーターやマイコンについての説明を受けたりしました。二人とも終始興味津々な様子で、社長への質問も飛び出していました。社長からは、「まずは作りたいロボットにどんな動きをさせたいかを考えて、材料を集めて作ってみることが大事。」というメッセージをいただき、早速材料を買い集めるとのことでした。陽さんと信さんでサメロボットを製作する未来が見えたような気がしました。



●陽さんの感想

「人間っぽいロボットが部屋にあって、いろいろ説明をしてもらいました。自分で一から作っているロボットもあるんだな、と思いました。そして、ネコザメのロボットを作るのに一番必要なのは、モーターだということが分かりました。体の関節にモーターをつける必要があるけど、魚の体のどこに関節があるか分からないから、最近魚の解剖をして調べています。でも、魚は硬骨魚類で種類が違うから、本当はサメの解剖を試みたいです。サメサメクラブに入っているので、クラブの人をお願いしてネコザメをもらって、解剖してみようと思います。」

